

三浦館と旧奈良家住宅の見学会

～100年の時を超えて～

今回の見学会では、午前中に三浦館を見学します。三浦館の主屋は、文久元年（1861）に建てられ、幕末期の民家としては、東北地方で最も大きな建物です。その主屋を中心に、表門、土蔵、文庫蔵等、計八棟が建っています。

午後に見学する旧奈良家住宅は、江戸中期の宝暦年間（1751～1763）に建てられました。建物の両端が前面に突き出す形は両中門造りとよばれ、秋田県中央海岸部の代表的な農家建築です。また、普段は、入れない座敷蔵や和風住宅の内部も見ることができます。

建築年代が、100年違う三浦館と旧奈良家住宅を一度に見るまたとない絶好の機会です。ふるってご参加ください。

日 時：令和2年9月30日（水）10時～15時

集合場所：三浦館（秋田市金足黒川字黒川178）

日程

9時30分～受付

10時～12時 三浦館

12時～13時 昼食、移動

※昼食、移動は各自でお願いいたします。

13時～15時 旧奈良家住宅

文化財保護協力費：700円

集合時に三浦館駐車場にてお支払いください。



お申し込み お問い合わせ先

秋田県立博物館 博物館教室担当宛て

電話 018-873-4121

FAX 018-873-4123

e-mail info@akihaku.jp